

令和8年1月19日 申込期限、選考日等を延長しました

【委託型】

舟橋村地域おこし協力隊募集要項

【募集内容】

「日本一小さい村」での放課後等の児童の
居場所づくり

令和7年12月

舟 橋 村

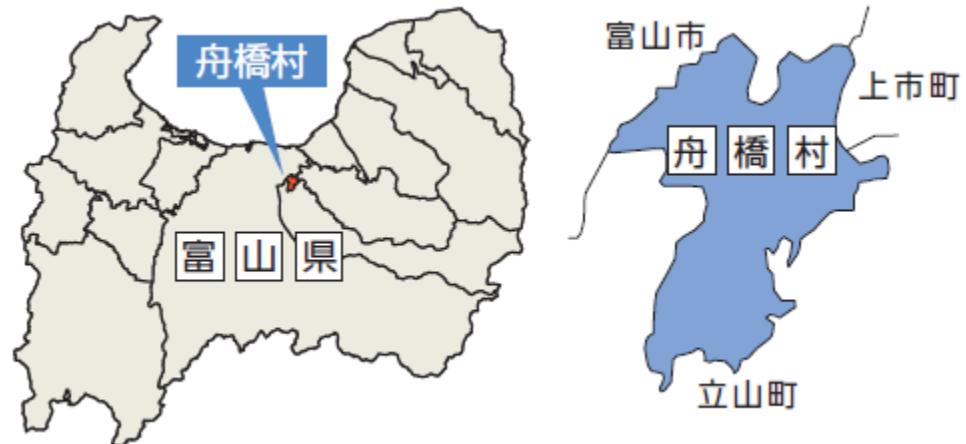
1 舟橋村ってどんな村？

舟橋村の面積は 3.47 km²で、全国に約 1,700 ある自治体の中でも最も小さい自治体です。富山平野のほぼ中央に位置し、富山市、立山町、上市町にそれぞれ隣接しています。一級河川常願寺川の右岸に位置し、村内には二級河川の細川や京坪川、八幡川が流れるなど、水に恵まれており、豊かな自然と整備された田園、そして雄大な立山連峰を望む景観は、四季折々で美しい表情を見せてくれます。本村の地形は全域が平野や平地となっています。また、村内の中央を走る富山地方鉄道により、富山市中心部へ約 15 分でアクセスすることができるなどの地理的条件も本村の強みの一つです。

このような恵まれた自然環境や地理的条件に加えて、平成に入り宅地造成等に伴い人口が倍増するなど、近年ではベッドタウンとして活気あふれる村となっています。また、全国各地で市町村合併が進む中、本村は合併を選択せず、現在では北陸3県で唯一の村となっています。

人口は 3,333 人(令和 7 年 12 月 1 日現在)で、村内には小学校、中学校が1校ずつあり(舟橋小学校、舟橋中学校)、舟橋村役場、舟橋会館、越中舟橋駅とともに、徒歩圏内に集まっています。

【舟橋村の位置】



2 募集(活動)内容

舟橋村は、小学生が放課後に利用する学童保育施設がありますが、令和8年度の利用希望が受入可能人数を上回ったことから、学童に入所することができなかつた児童が、安心して放課後等の時間を過ごせるよう、高学年の児童を対象にして、「放課後等の居場所」を新たに設置することとしました(令和8年4月開設予定)。

この居場所は、学童保育ではないため、預かりの場ではありませんが、子ども達が宿題をしたり、自由に遊んだり、「安心して過ごせる場所」にしたいと考えています。

今回は、その「放課後等の居場所」で企画・運営を行うコーディネーターとして活躍いただける方を1名募集いたします。令和8年4月に開設予定ですが、3月の準備期間から携わっていただきます。

(1)勤務地 富山県中新川郡舟橋村(舟橋会館の一室にて勤務)

(2)募集人数 1名

(3)活動内容

- ・児童の「放課後等の居場所」のコーディネーター
- ・村の子育て支援のコーディネーター

メインの業務は、舟橋小学校の近くにある舟橋会館の1室を利用した「放課後等の居場所」での子ども達の「見守り」です。子ども達が安心して過ごせるように、一人一人に寄り添いながら、見守りを行います。見守りは隊員1人ではなく、地域の人等と複数人で行う予定ですが、隊員はその中心になって活動していただく予定です。

子ども達と一緒に遊んだり、様々なイベントを企画したりして、子ども達の居場所を運営します。月曜日～金曜日の放課後の開設を考えており、夏休みの長期休暇等には、1日を通した時間帯の開設も検討しています。

【具体的な業務内容】

- 子ども達の見守り(月～金の放課後の時間帯、夏休み等の長期休暇は月～金の1日を通しての時間帯として検討中)※土日は開設しない予定です。
※人数は10～15名程度を想定
- 居場所の整理整頓・清掃(月～金)
- 役場との定期的な運営報告会議(毎月)
- 運営の計画づくり・季節イベント企画運営(毎月)
- 居場所の「お知らせ」作成(毎月)
- Instagram等の情報発信(隨時)

3 応募条件 次に掲げるすべての要件を満たす方

- (1) 3大都市圏又は政令指定都市(条件不利地域を除く)に現在住所を有する方で、着任に際し住所を本村に異動させることが確実な方
※3大都市圏:首都圏、近畿圏、中京圏のこと
- (2) 普通自動車運転免許(AT 限定可)を取得している方
- (3) 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条に規定する欠格事由に該当しない方
- (4) パソコン操作(Word、Excel、PowerPoint での書類作成)、SNS(Instagram、X、LINE 等)を活用した情報発信のできる方
- (5) 活動終了後、舟橋村に定住・就業(起業等を含む)する意向を持っている方

4 求める人物像

上記3の応募条件を満たしたうえで、さらに下記に当てはまる方を歓迎します。

- (1) 子どもが好きな方
- (2) 心身ともに健康な状態で、地域住民や地域団体などと積極的にコミュニケーションを図り、円滑に業務を遂行できる方
- (3) 活動内容を自分で考えることができるので、子ども達が楽しく参加できるイベントなどの企画能力がある方

5 契約内容等

(1) 身分

舟橋村の地域おこし協力隊として、舟橋村長が委嘱します。

舟橋村と業務委託契約を締結していただきます。(個人請負契約)

(村との雇用関係はありません。また、隊員としての活動に支障がなければ副業も可能です。)

(2) 委嘱期間 令和8年3月1日から令和9年2月28日まで

※「居場所」の開設予定は令和8年4月で、3月は開設の準備期間となります。

※以降、実績等を考慮のうえ、1年ごとに更新可能(最長3年まで活動することができます)

※隊員として相応しくないと村が判断した場合は、委嘱期間中であっても業務委託契約を解除することとします。

(3) 活動時間

開設時間は以下のパターンで検討していますが、その場合の活動時間は次のような時間を想定しています。(週の活動時間は、37.5時間程度を想定しています)

・19時まで開設する場合…勤務時間 11時00分～19時30分

・18時まで開設する場合…勤務時間 10時00分～18時30分

※子ども達が放課後に居場所に来る時間帯は15時頃からとなります。

※長期休暇等の期間は、勤務時間帯が変動する場合があります。

(4) 委託料 報償費月額25万円

※雇用関係がないため、雇用保険には加入しません。健康保険、年金等は、各自でのご対応となります。

(5) 住居 民間の賃貸住宅等を隊員自身で契約していただきますが、月額6万円を限度に村が家賃を補助します。

※敷金、礼金、光熱水費等については、隊員の自己負担となります。

(6) 活動費 上記の住居費の他、研修等への参加に要する費用などを支給します。

(7) 活動報告 活動状況を定期的に村に報告していただきます。

(8) 福利厚生

村と雇用契約を結ばないため、健康保険と国民年金は個人の負担となります。

(9) 副業

事前にご報告いただき、任期中の活動に支障のない範囲で行うことが可能です。

(10) 移動手段

舟橋村役場、舟橋会館、越中舟橋駅、舟橋小学校、舟橋中学校などは徒歩で移動できる距離のため、車を所有していない方でも大丈夫です。研修等で村外に移動する際には、公共交通機関を利用いただくか、村の公用車を使っていただくことも可能です。

6 応募手続

(1) 応募方法

郵送・持参・メールのいずれかにより、以下の①～③を健康福祉課福祉係宛に提出してください。

①履歴書(市販のもの。写真付き)

※連絡のとれるメールアドレス(フリーメールも可)を必ず記載してください。

②志望動機書(A4・1～2枚)※任意の様式で可

③住民票(3か月以内に取得したもの。コピー可)

【提出先】 舟橋村役場健康福祉課
〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村佛生寺 55
TEL:076-464-1122
E-mail:fukusi@vill.funahashi.toyama.jp

【応募締切】

令和 8 年 1 月 26 日(月) 17 時 15 分必着

(2)選考フロー

1次選考【書類選考】:令和 8 年 1 月 30 日(金) までにメールで通知

↓

最終選考【現地面接又はオンライン面接】:

令和 8 年 2 月 4 日(水)、5 日(木)の間に実施

↓

選考結果通知:令和 8 年 2 月 10 日(火)

状況に応じて面接日が変更となる場合があります。

応募に係る経費(申請費用及び面接時の交通費など)は応募者の負担となります。

選考の経過及び結果についてのお問い合わせには応じられませんので、ご了承ください。

7 その他

舟橋村では、「子育て共助のまちづくり」を掲げ、次のようなプロジェクトや事業も行っていますので、ご紹介します。

(1)園むすびプロジェクト

平成 27 年度から、京坪川河川公園(愛称:オレンジ・パークふなはし)を拡張し、隣接するエリアに認定こども園、子育て賃貸住宅を建設し、相互に連携し合うことで、人と人とのゆるやかなつながりのなかで安心して子育てをすることのできるモデルエリアとして整備してきました。

特に公園では、小学生を「こども公園部長」に任命し、公園を管理する造園事業者とともに、「ここに来たら、一緒に遊びたくなって、いつの間にか友達ができちゃう公園」の実現を目指し、公園のイベント企画・運営から遊具の整備や資金集めまでを実際に担ってもらっています。

また、毎月 1 回開催している「月イチ園むすび」では、こども公園部長やその保護者、友達や遊びに来た村外の親子も巻き込んで、月変わりで一風変わったイベントを実施しています。

(2)村立図書館(かもしか図書館)

中部の駅百選にも選ばれた越中舟橋駅には、駅舎と一体となっている村立図書館があり、村内外問わず多くの方に愛され、住民一人当たり年間貸出冊数は全国でもトップクラスとなっています。

図書館を含め、村の公共施設では、利用者は靴を脱いで入館します。この図書館は、木のぬくもりあふれる全床フローリングで、床暖房を完備したフロアには本棚が低く配置されるなど、小さなお子さんからお年寄りまでがゆっくりとくつろげる空間となっています。

平成 20 年 7 月 3 日には、ニホンカモシカが図書館に迷い込む出来事が発生し、全国ニュースになりました。ちょうど図書館開館 10 周年記念の年でもあり、カモシカがこれをお祝いしてくれたのでは、と話題になりました。

この出来事を題材にした絵本「カモシカとしょかん」も発刊されています。

(3)子育て支援センター「ぶらんこ」

公設民営の子育て支援センター「ぶらんこ」は、「(一社)さくらんぼくらぶ」が主に次の3点を心がけて運営しています。

①行政はなるべく介入せず、利用者の声を拾い上げながら柔軟に対応すること。行政が作ったルールは、ときに利用者が使いづらく、利用されない施設を作ってしまします。利用者の声を丁寧に拾い上げながらの運営を目指しています。

②利用者同士のゆるいつながりをつくること

通常の支援センターでは経験豊富な保育士をスタッフに雇用し、利用者は困ったことがあったときにスタッフに相談し、子育てに関する悩みを解決する場として機能しています。

しかし、子どもが小さいときは、24 時間、いつどこで何があるかわかりません。支援センターがオープンしているときはもちろん、支援センターがなくても頼れる人がいる、そんな安心感を狙って、ぶらんこでは利用者同士のつながりづくりを心がけています。

③利用者にイベントなどの企画・運営に関わってもらい、一緒につくること

イベント時のハンドベル演奏をママ有志にお任せしたり、子どもヘアカット教室講師を美容師ママにお願いしたり、英語の得意なママが英語絵本の読み聞かせをしたりと、ママがゲストスタッフとして運営に関わる場面が多々あります。

サービスを受けるだけではなく、イベントに関わって一緒に作り上げる楽しさを感じてもらうとともに、この仕組みを通した利用者同士のつながりも深めています。